

うつぎのひめはなばちぐんせいち
21. ウツギノヒメハナバチ群生地

■ 指定日

昭和59年3月28日

■ 種別

兵庫県指定天然記念物

■ 年代

■ 所在地

朝来市山東町楽音寺

■ 所有者

楽音寺



提供: 新潮社“FOCUS”1993年6月15日号掲載
Photo: 桑原英文氏

■ 内容

ウツギノヒメハナバチは、ウツギ(ウノハナ)、ホタルブクロ等の花が咲く5月末から6月、土中から一斉に成虫になってこの花に群がる。

このハチの生態は、メスが斜めに細い穴(地下30cmほど)を掘って営巣し、幼虫の部屋をつくる。そこへ花粉と、或いは口から出した蜜で花粉だんご(直径7~8mm)を1~2日がかかりでこね、卵を産む。巣穴の奥から上へ、花粉だんご、産卵を10数回くり返して約1ヵ月の一生を終える。幼虫は花粉だんごを栄養源に育ち、さなぎで越冬。まずオスが羽化し生殖活動をする。

楽音寺境内では6月10日前後が最盛期で、約20万匹に及ぶ群生は全国でもまれである。